



抗がん剤投与中の食思不振について

抗がん剤投与中の食思不振は、多くの人を経験する症状であり、その程度や期間には個人差があります。さまざまな原因があり、いくつかの原因が重なっています。

食思不振の原因

がん
そのものが原因

抗がん剤副作用
味覚障害
嗅覚障害
吐き気・嘔吐
口内炎・食道炎

放射線照射後の影響

下痢・便秘

腹水貯留による
物理的圧排

心理的要因
不安・落ち込み

消化管の術後の影響

対策

本人や周りの人ができる工夫

- ・食べたいときに食べたいものを口にする
- ・おかきやビスケットのような、乾いたものを手にとれるところに置いておく
- ・小皿に食事を盛り付ける
- ・暖かいものより常温の物のほうがおいが薄くなり食べやすい場合がある
- ・抗がん剤の影響で味の好みが変わることがある、新しくおいしく感じるものを食べる
- ・食べなくてはいけないと思いつめない
- ・周囲の人の食べてほしいという気持ちや言葉かけが、患者へのプレッシャーになることを知っておく

事例検討会

2024年11月京都北部緩和ケア研究会で胃がん患者の食思不振について事例検討会を行いました。